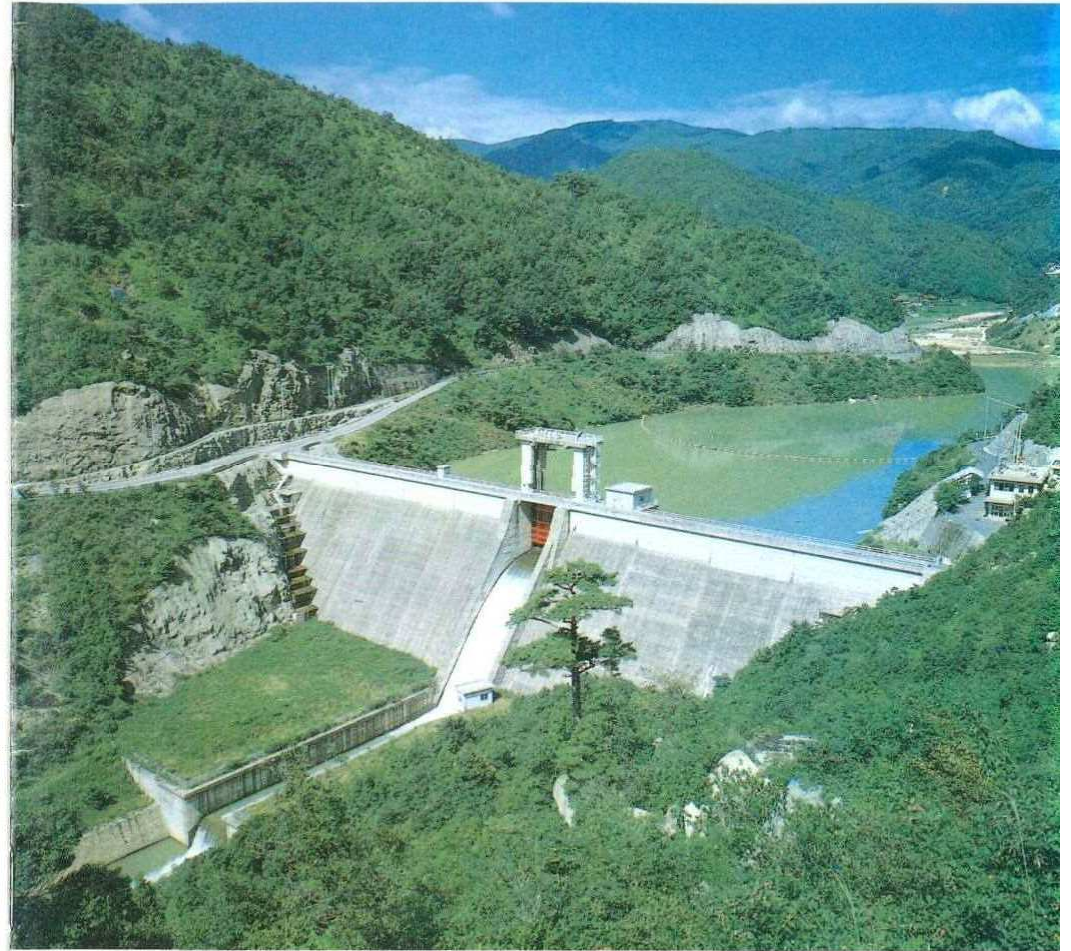


野呂川ダム



広島県西部建設事務所呉支所

野呂川ダム管理事務所

〒737-2508 広島県呉市安浦町中畑641-11

TEL (0823) 84-3116 FAX (0823) 84-6850

のろがわ 野呂川ダム 概要

野呂川は広島県東部の瀬戸内海に面する野呂山（標高833.6m）に源を発し、下流安浦町の中心部の家屋密集地帯を貫流して瀬戸内海に注ぐ流路延長10km、流域面積43.2km²の河川である。

野呂川下流部は、昭和27年から昭和33年度にかけて、計画高水流量175m³/secで河川改修がなされているが、台風及び集中豪雨時にはしばしば洪水による被害を蒙っている。

特に昭和42年7月の集中豪雨による被害はいちじるしく、破堤溢水による公共土木施設、公共施設及び人家等の被害は甚大であった。

このため昭和42, 43年度には災害関連事業として計画高水流量233m³/secで部分的に河川改修が行なわれたが、近年の度重る集中豪雨などによる出水状況からして、今後このような洪水が起った場合は再度災害を蒙ることは必至である。

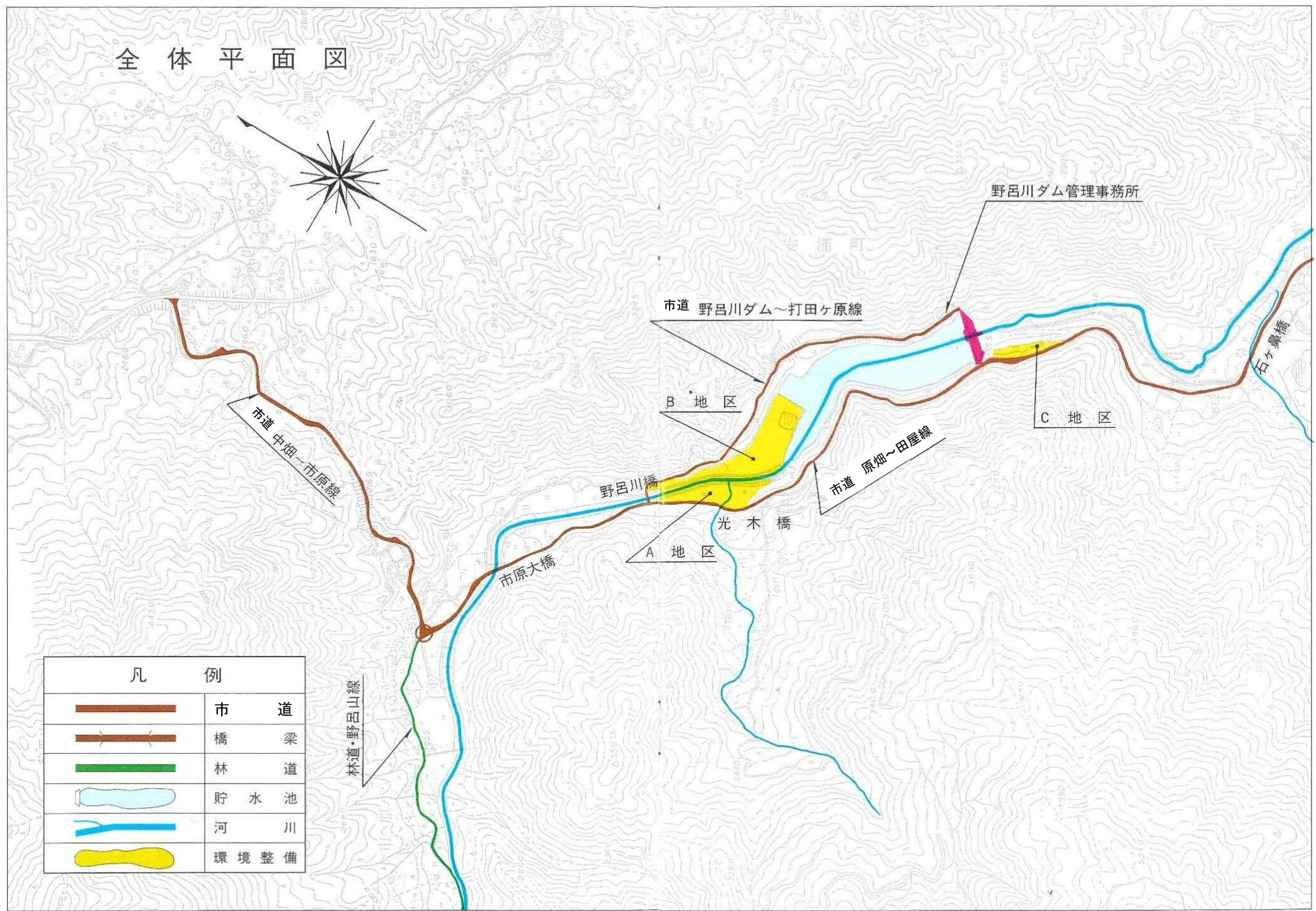








このため、恒久的抜本的措置として基準地点の計画高水流量を400m³/secに改定し、安浦町大字中畑字市原地区に治水ダムを建設し、ダム地点の計画高水流量300m³/secのうち、190m³/secをカットして、基準地点における計画高水流量400m³/secを230m³/secとしてダム地点下流の水害を防除するとともに、野呂川下流沿岸の60.87haの耕地に不特定かんがい用水の確保を目的とし、昭和44年度より国庫補助をうけて調査を始め、昭和51年3月まで7年の歳月と23億2千万円の建設費を投じて完成された。

事業の経緯

昭和44年	予備調査に着手
昭和45年5月	実施計画調査に着手
昭和46年7月	野呂川ダム建設事業所開設
昭和47年5月	補償基準書調印
昭和47年10月	町道付替道路工事に着手（1.2工区）
昭和47年12月	ダム本体工事に着手
昭和48年6月	町道付替道路工事完成（1.2工区）
昭和49年2月	ダム定礎式
昭和50年11月	付替道路3工区に着手
昭和50年12月	試験湛水開始
昭和51年3月	付替道路3工区完成
昭和51年3月	野呂川ダム竣工式

全体平面図



凡 例	
	市 道
	橋 梁
	林 道
	貯 水 池
	河 川
	環 境 整 備

ダム及水源地諸元

項目	数値	項目	数値
河川名	二級河川野呂川水系野呂川	岩質	石英斑岩(高田流紋岩類)
ダム位置	広島県呉市安浦町大字中畑字市原	集水面積	13.00km ²
型式	重力式コンクリートダム	湛水面積	0.14km ²
堤高	44.80m	総貯水量	1,700,000m ³
堤長	170.00m	有効貯水量	1,200,000m ³
堤体積	96,300.00m ³	治水容量	1,050,000m ³
ダム勾配	上流1:0.1 上流断層部1:0.75 下流1:0.76	常時満水位標高	124.40m
堤頂の標高	135.80m	サーチャージ水位標高	134.40m
越流頂の標高	124.40m	計画洪水流量	140m ³ /sec
基礎岩盤標高	91.00m		

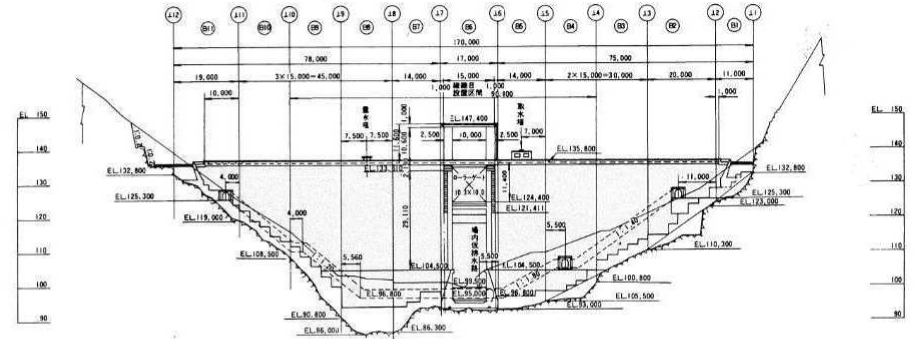
放流及管理施設

洪水吐ゲート	ローラーゲート 高さ10.3m 幅10.0m 1門	受電設備	6.6KV・78KW
	角落ゲート 高さ1.0m 幅10.0m 7枚	放流警報施設	5ヶ所
表面取水設備	ローラーゲート 高さ5.1m 幅2.0m	水位観測所	3ヶ所
	取水ロゲートφ0.70m 4門	警報車	1台
放水バルブ	ホロージェットバルブ 0.60m 1門	防災・行政無線	無線電話・模写装置一式
予備電源施設	220V・78KVA		

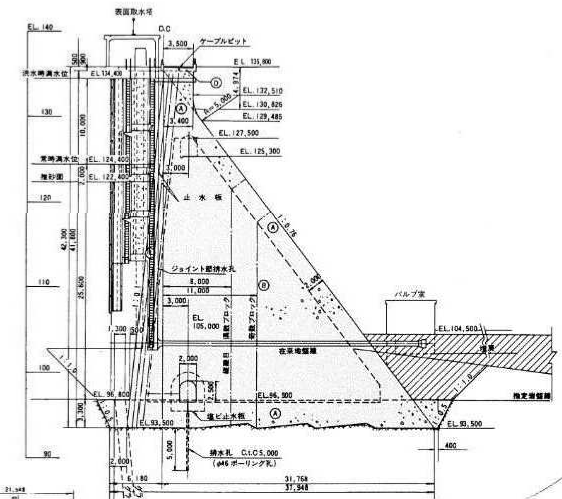
水没物件及付替道路

田	41,422m ²	付替道路	総延長2,014m 幅員5.5m
畑	1,196m ²		橋梁 PC橋L=7.34m W=5.5m
宅地	1,639m ²	工事用道路	総延長1,025m 幅員4.0m
山林及其他	170,566m ²		橋梁 鋼橋L=20.4m W=4.0m
家屋	3戸		

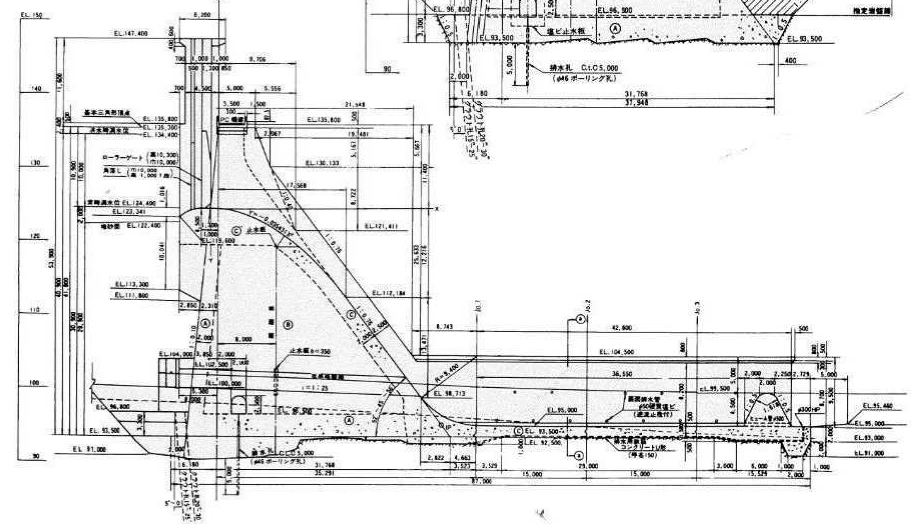
ダム下流面図



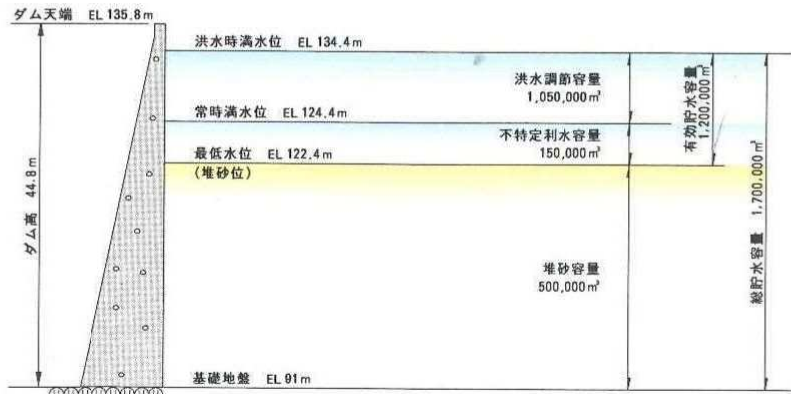
非越流部標準断面図



越流部標準断面図



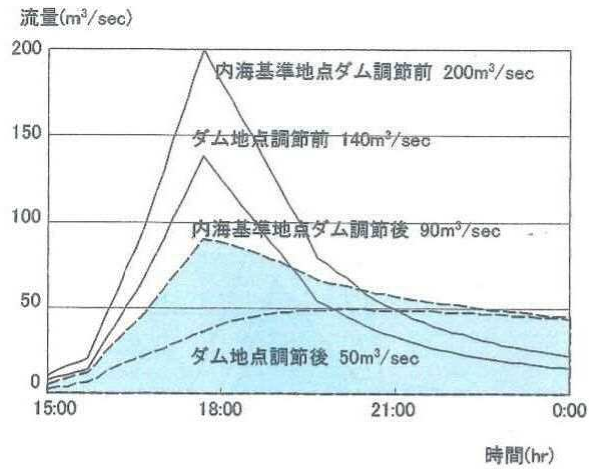
貯水池容量配分図



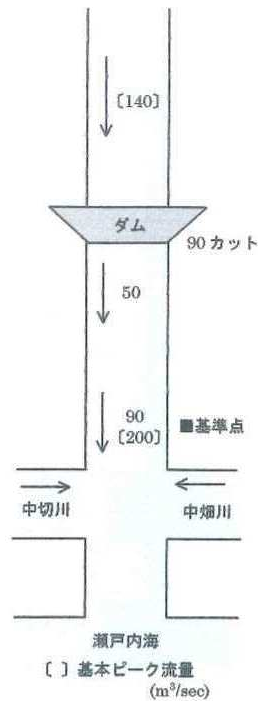
上流よりダムサイトを望む

洪水調節効果図

洪水調節は、ゲート開度一定の自然調節(開度 0.42m)



流量配分図

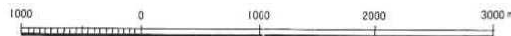


ダムサイトより上流を望む

管理施設概要図



1 : 50,000



この地図は、建設省国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。(承認番号 昭62中復第 216号)

ダム管理施設のあらまし



▲管理所(えん堤及び管理所附近)

▲操作卓



▲流木止網場施設

▲取水塔・放流ゲート・量水塔設備



▲下流警報局



▲ダム放流警報所



▲放流設備(クレストゲート)

■管理設備一覧表

種別	名称	構造及び形状寸法	数量	設置場所
建物	管理庁舎	鉄筋コンクリート2階建	171.6㎡	広島県広島市安浦町大字中畑641-11
	電気室	鉄筋コンクリート2階建	60㎡	管理所
	縦庫	鉄骨平屋	36.3㎡	〃
	角落し格納庫	鉄骨平屋	47.8㎡	〃
	車庫棟	鉄骨2階	72㎡	〃
放流制御設備	データ処理装置	ダム諸量処理装置・ゲート遠方操作	1式	管理事務所
	制御用計算機	データ処理装置	1式	〃
放流設備	洪水吐ゲート	ローラーゲート 高さ10.3m×幅10m 角落しゲート 高さ1.0m×幅10m	1門 7枚	堤体部 堤体部(管理所)
	表面取水設備	ローラーゲート 高さ5.1m×幅2.0m	1門	〃
	取水バルブ	取水口ゲート 0.82m×0.82m(φ0.7m)	4門	〃
	放水バルブ	ホロジェットバルブ φ0.6m	1門	〃
電気設備	受配電設備	高圧屋内乾式 6,900V	1式	電気室
	変電設備	変圧器盤・分岐盤等	1式	〃
	予備電源施設	220V・78KVA	1式	〃
テレメーター観測設備	テレメーター監視局	制御装置・制御卓	1式	管理事務所
	野呂川ダム雨量局	有線・転倒型雨量計	1式	〃
	水位ダム	水研62型水位計(副)水晶式水位計	1式	堤体部
	水位原	水圧式(71.82MHZ 1W)	1式	広島県広島市安浦町大字中畑市原
	水位藤	水晶式水位計(71.82MHZ 1W)	1式	広島県広島市安浦町大字内海

種別	名称	構造及び形状寸法	数量	設置場所
放流警報設備	放流警報制御局	制御装置・制御卓71.82MHZ 3W	1式	管理事務所
	ダム	有線スピーカー50W×2 サイレン2.2KW	1式	〃
	警大	無線スピーカー50W×2 サイレン3.7KW	1式	広島県広島市安浦町大字原畑
	報南	無線スピーカー50W×2 サイレン2.2KW	1式	広島県広島市安浦町大字内海
	局藤	無線スピーカー50W×2 サイレン2.2KW	1式	広島県広島市安浦町大字内海
	浦	無線スピーカー50W×2 サイレン2.2KW	1式	広島県広島市安浦町大字原畑
膳	膳棚山中継局			
放流警報表示板	警報標識板	アルミ板(パイプ支柱)	9箇所	ダム下流
水文気象観測設備	総合気象観測装置	風向、風速、気温、水温、湿度、気圧 記録計(6打点式)	1式	管理事務所
車輛及び船舶	警報車	拡声器 無線装置付	1台	管理所
	巡視船	L=3.66m 15PS 定員4名	1隻	〃
	連絡車	マツダ トリビュート	1台	〃
堤体観測装置	埋設計器	揚圧力計 27箇所	1式	堤体部
	漏水量	三角堰	3箇所	堤体部
	地震計	強震計SM-24MR 3基	1式	〃
ダム・貯水池附属設備	排水ポンプ	水中ポンプ	2台	堤体内
	流木防除設備	網揚フロート式	170m	貯水池
	警備船設備	手巻揚機・船台車・軌道式	1式	管理所
	焼却炉	耐火式(丸型)高さ1.5m 外径0.78m	1基	〃

ダム周辺環境整備概要図

ダム周辺環境整備の事業概要

ダム及び貯水池という新しい河川環境の創造に対し、その周辺に対し、河川敷地整備、緑化対策及び安全対策等の貯水池としての基盤的整備を実施することにより、周辺の自然環境との調和を図り、河川環境の改善を目的とするものであり、ひいては住民に水と緑の豊かな憩いの場を提供するために、昭和52年度に着手し、昭和57年3月までに1億2千万円の事業費で整備されたものである。



呉市安浦町



景石広場



花木広場



桜並木



ダム記念碑